

# 民報 ゆうばり

# 富山衆議「北海道から複数議席を！」

# 「医療・交通・子育て・教育等」で意見交換～ふれあいトーク

## 共産党南空知後援会 「さくらまつり」開催

5月21日、日本共産党南空知後援会は「さくらまつり」を開催しました。

晴天に恵まれ、南空知各地から約130名、夕張からは19名が参集しました。開会前はうたごえとギターバンド演奏があり、会場を盛り

会場に駆けつけた、**富山和也衆議院議員**は「

これまでの国会情勢で、豊洲市場問題・森友学園問題・共謀法案の危険な内容、更に加計大学設立問題などを報告。さらに、7月の東京都議選を前に「前回都議選で8議席から17議席と倍増させ、その力で参議院選も11議席から14議席へ、そして衆議院選挙では9議席から21議席へと大躍進しました。現在法務委員会にも、2名の委員を送ることができています。国政選挙に大きく影響を与える、都議選を勝利のためにどうかお力添えを。そして、衆議院選挙では北海道から複数の議員が誕生するよう、さらに、お力を寄せてください」と訴えました。



最後に、参加者全員で「憲法壊すな！」「共謀罪はいらない！」「アピール」を叫び、「総選挙に向けて、野党と市民の闘いを広げ、安倍政権を終わらせよう！」と締めくくりました。

## 女鹿武10区国政 対策委員長は「

これまでの各自治体首長訪問の対話・懇談の中で切実な要求が出された。「国会議員になつたら、これらの要求をまとめて質問ができる」「安倍政権を打倒し抜くまで、みなさんと力をあわせて頑張りたい」と決意を述べました。

## 屋敷交流会では「

後援会ごとに、ジンギスカン等の屋敷を囲み、交流会では地域での後援会活動の様子や、歌などで交流しました。

## 「お楽しみ抽選会」

では、景品の日用品などに、番号が発表されるたびに「わー、当たった！」「など、笑顔で景品を受け取りました。

## 「市長とのふれあいトーク」開催



清水沢会場(子育て世代向け)ふれあいトーク 5/31

軽減や子どもの医療費の軽減等の取り組み、認定子ども園やICT活用などの教育環境づくり、看護士や介護福祉士等の資格取得の補助など地域人材育成の取り組み、拠点複合施設構想などの説明がありました。

夕張市は、5月26日から4日間にわたって「市長とのふれあいトーク(市政懇談会)」を開催しました。

特に、拠点複合施設の待合スペース・図書コーナー・乳幼児スペース・多目的ホールなどの機能を備え、清水沢駅周辺の半径200メートルの範囲に設置することを明らかにしました。

参加者からは、将来的市の医療体制や交通網・保育や教育などへの質問・要望がありました。

各地区とも、前半は鈴木市長が「財政再生計画の抜本見直しにより追加した新規事業」について説明を行い、後半は、市政全般に対して、出席者からの質問や要望に市長が答える形で進められました。

新規事業では、若者定住促進のための環境整備と住民税

ス定期券紛失の再発行の際の保護者の全額負担」について疑問の声がありました。鈴木市長は「南北幹線とデマンドなどを組み合わせた交通体系の整備を考えている、通学定期については、具体的事象が出てきた時点で、問題を整理して考えていきたい」とのべました。

医療の問題では、「新たな医療機関の整備の際には、現市内30名ほど人工透析患者がおられる中、財政破綻の直後に廃止され、余儀なく市外の医療機関に治療せざる負えない状況は正のため、人工透析の復活をのぞむ具体的な要望」が出されました。

鈴木市長は「新たな医療施設の内容については、今後とも市民のニーズがどこにあるかを捉えながら、指定管理者とともに検討していきたい」との考えを示しました。

# 衆院十区予定候補 女鹿武さん街頭演説

衆院における「共謀罪」法案の審議が進むごとに、その正体をさらけだし、益々国民から非難の声が強まる中、5月20日衆院10区予定候補の女鹿武さんが夕張に入り、市内3ヶ所で街頭演説を行いました。

平和地域の夢団地前でマイクを握った女鹿武さん。自公政権が力を強く行採決に踏み切ろうとしている」と情勢を

「各地での抗議行動が活発になっていて、先日5月14日にも岩見沢で抗議集会・デモ行進が行われた」と運動の広がりを紹介しました。その後、南清水沢地域へ移動し、歩団地、萌団地でも街頭演説を行いました。女鹿武さん候補は昨年12月に候補としての活動を開始し、夕張には前回、3月19日に来夕したの



を含め5回目となる夕張の財政破綻の財政再建自治体として頑張っている夕張市民の取り組みに思いを寄せながら「国や道の責任はあきらかだ。破綻から10年、若い人も高齢者も安心して住み続けられる街に」と語りました。

くまがい市議が同行し「夕張の再生を少しでも早く実現するためにも、女鹿武さんをこの10区から国会へ送り出しましょう」と支持を訴えました。

くまがい市議が同行し「夕張の再生を少しでも早く実現するためにも、女鹿武さんをこの10区から国会へ送り出しましょう」と支持を訴えました。

## くずさんの 夕張歴史散歩(72)

大正10年のたたかい ⑫

### ねばり強い交渉

それでも越えて7日、支店長の秘書星野健児は代表団と会見「協定事項については誠意をもって対処する」とを言明させます。10日に楓、11日は登川で報告演説会を開き組合に結集し団結を訴えます。

ようやく12日になって会社から、警察署長を通じて会見をしたいと申し入れがあり、登川、楓支部代表と登川鉦長並びに鉦夫係長との交渉が行はれました。

### 遂に非を認めさせる

この結果、次のように会社との協定を確認し、その内容を登川三ヶ所と楓二ヶ所に「掲示」することを了解させ、一応の解決をみました。

「支店長は先般麻生久氏に言明せるは、今も変わることもなく誠意あり。又麻生氏に対する流言蜚語は事実無根なり。此の旨両氏(麻生久と坂口義治)に伝言せられたし。此余は鉦夫諸君が右の言明に依頼し、忠実に業務に就かれん事を希望するものなり。」

三月十三日

全日本鑛夫連合会本部員

赤松 克磨  
三輪 寿壯

3月13日には当事者の麻生久が来夕し、当夜は楓座で、翌日登川坑夫倶楽部でそして15日に眞谷地へと、連日報告演説会を行いました。

この報告会で、組合の動揺を抑え一応の紛争が落ち着いたとして、16日には麻生、赤松は帰京、三輪は幾春別に向かいます。



岩渕 友「国会かけある記」  
参議院議員

## 岩渕 友

### 民主主義を求める流れは止められない

先月、つどいに呼んでいただきライラックの咲く札幌にうかがいました。つどいでは、久しぶりの再会を喜びあい、初めての出会いがあり、「コラム、いつも読んでいるわよ」と声をかけて下さる方もいて、大変励まされました。衆院法務委員会が共謀罪法案が強行採決された直後ということもあり、必ず廃案に追い込もうと決意しあう場になりました。

つどいの合間をぬって、畠山和也衆院議員と街頭から訴えると、「安倍政権倒してほしい」と声をかけて下さる方が。集会やデモ、街頭からの訴えが広がるなかで、共謀罪法案がどんな法案か、安倍政権のあらゆる分野での暴走、国政の私物化の実態などが知られるようになり、怒りが広がってきているのだと感じました。北海道新聞による全道世論調査では、安倍内閣の支持率が下落し、「支持しない」との回答が大きく増え、五七%にもなっています。

共謀罪法案の審議が参議院で始まりしました。政府は「共謀罪は人権を制約する」と国連が懸念を示していることにまったく答えないという異常な態度をとり、参議院の論戦で一般人が広く監視対象となる危険が明らかになっています。

原発再稼働反対! 安保法制反対! など、政府は声をあげる市民が広がることをおそれているからこそ共謀罪を強行しようとしています。民主主義を求める流れは止めることはできないということを、市民と野党のたたかいで示そうではありませんか。共謀罪を廃案へ! 全力でがんばります。